

物忘れや認知機能について気になる場合 どんな検査がおすすですか？

A: 認知機能セルフチェッカーがおすすです

認知機能セルフチェッカーは、あなたの眼の動きを分析して認知機能低下のリスクを評価する次世代型の検査機器です。口頭や筆記での回答が不要で、負担の少ないところも特徴です。

検査時間
5分

1
VRを
覗き込む



2
認知課題に
回答

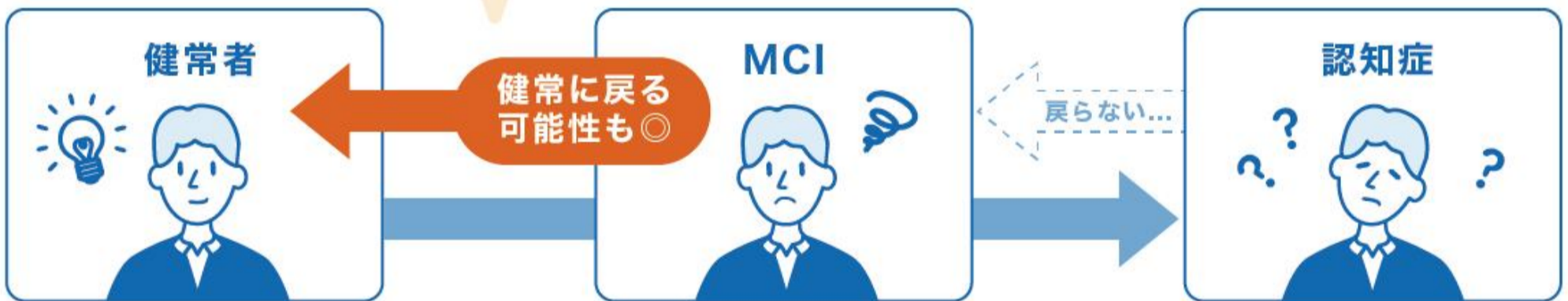


3
結果を
受け取る



認知症予防のカギは 認知機能低下の早期発見

MCI(軽度認知障害)と診断、あるいは発症する年齢は**50~60代**に多く、MCI段階の人が適切な処置や改善を行うと、**14~44%**が**健常状態に戻る**と言われています。*



検査を受ける理由はさまざま



脳ドックと一緒に検査を受けることで、**自身の脳の状態をより詳しく知りたい**と思った。

50代 男性



母親が認知症になったことをきっかけに、人ごとではないと思い検査を受けてみようと思った。

40代 男性



家族にすすめられ、**認知症になったら家族にも大きな負担をかけてしまう**と改めて気付かされた。

60代 男性



人の名前がパッと出てこなかったり、家の鍵を閉めたかななどの**物忘れがあり、不安を感じていた**。

50代 女性